

菅園吉 かん ぎん 宗教哲學者、文學博士。明治二十八年十一月、二十日京都生れ、昭和四十七年九月二十二日歿（八九一七二）。大正八年京都帝國大學文學部哲學科卒。と教大學教授。妻は女性初の哲學教授菅文那子。

譯著書に、ジ・エフ・ムーア著『比較宗教史概論』（譯、昭和二年四月十五日啓明社）、『現代の宗教哲學』（昭和九年九月十九日日本評論社『現代哲學全集』）、『宗教復興』（昭和九年九月二十日日本評論社）、『現代學生は何を爲すべきか』（合著、室伏高信編、昭和十五年一月二十日山谷書房）、『轉換期の基督教』（昭和十六年十一月二十日畝傍書房）、『二十世紀精神』（合著、昭和二十四年一月十日鎌倉文庫『人間漢書』）、『宗教概論』（昭和二十四年四月十日白揚社）、『死の問題』（昭和二十八年七月二十日創元社『キリスト教叢書』）、ハワード・A・ジョンソン著『キエスレゴール理解の鍵―その思想の辯證法的構造』（後藤真共譯、昭和二十八年十一月二十日創元社）等。

